

問1 川が曲がって流れているところで、水のはたらきによって土がけずられていくのはどの部分ですか。

問2 流れる水が、土や石を別の場所へ運ぶはたらきのことを何といいますか。

問3 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにコンクリートなどで人工的につくられた壁のことを何といいますか。

問4 川が曲がっている場所のうち、水の流れが速く、川底や川岸がけずられやすいのはどこですか。

問5 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問6 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。

問7 川の水の量が増えたとき、しん食・運ばん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。

問8 雨がたくさん降るなどして、川の水の量が増えたとき、川の流れの速さはどのようになりますか。

問9 平地を流れる川の中ほどの部分で、土地の傾きや水の流れが上流よりもゆるやかなところを何といいますか。

問10 川の下流で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問11 石が入った針金のかごを川の岸に並べて、川の岸が削られるのを防ぐための工夫を何といいますか。

問12 流れる水が石や砂を積もらせるはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問13 川を流れる水が増えて流れが速くなったとき、土や石を運ぶ「運ばん」のはたらきはどうなりますか。

問14 川岸をコンクリートなどでかためる「護岸」を行う、一番の目的は何ですか。

問15 流れが速く、土地を強くけずり、まわりに角ばった大きな石がたくさん見られるのは、どのような場所にある川の特徴ですか。

問16 流れる水のはたらきである「たい積」によって、地面に積もるものは何ですか。